

千西一週

第76号
発行
2020年
12月28日(月)
上田西高
新聞編集
編集局長:堀内日菜子
新聞委員長:橋爪こ菜
藤井 彩香
宮原 佐和

日常の「常識」を問い直す



八方不美人の3人(左からドリアン・ロロプリジーダさん、エスムラルダさん、ちあきホイみさん)圧倒的なパフォーマンス力と見るものを惹き付けてやまないルックス、バラエティに富んだ楽曲やNGなしのトーク等で、すでに各方面で高い評価を得ている。引用=八方不美人公式サイトより

発想の転換で生きづらさを克服

12月3日(木)、新宿2丁目が生んだ本格派ビューティ・ユニット「八方不美人」のドリアン・ロロプリジーダさん(女装パフォーマー)の3人をゲストに、テーマを「普通って何だろう」としたオンライン取材会が開催された。ジェンダー問題や「常識や当たり前とはなにか」についての議論が活発に行われた模様をまとめた。

近年SDGsが大きな話題になっている。SDGsとは国連の持続可能な開発のための国際目標であり、17のグローバル目標と169のターゲット(達成基準)からなる。SDGsとは、これらの英語の頭文字と最後のスペルをとったものである。また、その中にも232の指標がある。17の目標の中には、男女平等というものがある。しかし、性別

別に関しては心と体が一致しない人もいる。八方不美人の3人も生きづらさを感じていた。しかし、エスムラルダさんは、「最近生きづらさを感じない」と話した。理由としては、今大変なことでも「1年たてば過去になる。1年後の自分はこの悩みを克服している」と思うと気持ちが切り変わるから」と話した。ちあきホイみさんも、エスムラルダさんと同じように話した。

八方不美人結成は「勢い」で

3人の出会いは、女装のイベントの時であった。しかし、特別仲が良かった訳でもなく、顔見知り程度であったという。そんな中、ドリアンさんが、及川眠子さん(作詞家)の詩でソロの歌手デビューをする話があった。そこで作曲家の中崎英也さんと、ドリアンさんを引き合わせる会が開かれることになった。エスムラルダさんは及川さんと友達で、中崎さんのことが好きだった為に参加した。また、ちあきホイみさんは、会場となったバーが行きつけであり、会のことを紹介され参加することになった。



SDGsのポスター。今回は5番、ジェンダーについての討論が行われた。写真=SDGs公式サイトより

次に、自分の魅力の見つけ方についてちあきホイみさんは「魅力がない人はいない」と話した。エスムラルダさんは「1番になることが大切ではない。何をやって1番になれないことも個性であり、才能である」と続けた。また、八方不美人の3人はジェンダー平等のためにできることについて「男だから女だから人を理解しない。思い込み、偏見を解き放ち人間として見ること」と話した。多様性に寛容な社会が望まれている。(橋爪こ菜)

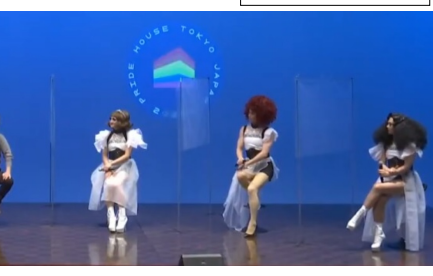
イみさんは「試練や苦境も楽しんでやる」と発想の転換で無理やりでもポジティブに考えようとしているそうだ。自分自身は「他人に嘘をついていいが自分には嘘をつかない。自分を見つめて理解してあげることが大切」と話した。

また、それぞれ自分の個性を生かすためにどんな努力をしてきたかという質問に、ちあきホイみさんは、「できるかできないかではなく、好きなものを探そう。それが長所になるから」と答えた。エスムラルダさんは、「自分のいいところを見つけて努力できるなら諦めず続けること」と話していた。3人のように、考え方を前向きに変えることで生きづらさを克服している人もいます。

多様性のある社会を目指して

多くの人は普通という枠組みにとらわれがちである。ドリアンさんは「普通の中で逸脱しないようにと生きてしまっている人達が多い」と話した。いわゆる「普通」から離脱してしまったりと周りに非難されてしま

よりほっとくことの方が大切だと思う」と話した。また、エスムラルダさんは「年齢を重ねるにつれて自分の好きを必然的に隠さなくなっていく。そうやってい世の中になつてほしい」と話した。



オンライン取材会トークセッションの様子 写真=YouTubeより

意義が問われる「規則」

今回のオンライン取材会の第一部では、八方不美人と若者のトークセッションが行われた。若者の代表として大学生2人がスタジオに登場し「普通とはなにか」というテーマで話が進行中、質問コーナーの時間が設定された。編集局では「学校の規則は守らないといけないか」という質問をしてみた。

早稲田大学1年生の田中健太郎さんはこの質問に対し、「ルールとしてある間は守るべきではある。しかし、自分に必要がない、合っていないと思うものは変えるべきである」とルールを変えるという新しい提案を行った。上智大学2年生の田中美桜奈さんは、「ルールがあることにより、私達を守ってくれるという利点はある」と話した。また、田中さんと同じく、ルールを変えることについても触れ、「ルールを変えることは、普通を問い直すことにも繋がるのでは」と話した。

八方不美人の3人は、「ルールがあることにより、私達は考え、そこにクリエイティブが生じる。また、成長するきっかけにも繋がる。逆にルールがないと考えることを辞めてしまい、思考停止してしまう。ルールを付度し、その上で従うのか反発するのかを考え、行動することが大切だと話した。日常生活で当たり前前に思われることを問い直すことも必要かもしれない。(藤井 彩香)